

羅 針 盤			方 策	点検・評価		達成度	達成状況のまとめ及び次年度の課題	学校関係者評価
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート			
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	①学校行事に、生徒の70%以上が満足している。	・生徒が企画運営の中心となる魅力的な学校行事の実施	A	A	A	本年度は各行事を予定通り実施することができた。桐工杯スポーツ祭や校内親善球技大会など生徒会が中心となり生徒主体の運営を行うことで、92%の生徒が学校行事に満足しているとの回答であった。	・学校行事への生徒の満足度が非常に高いので、今後も生徒主体の運営を継続して欲しい。 ・実習の満足度が高く、また課題研究にも主体的に取り組んでおり、工業高校の特色が発揮されている。今後は資格取得についても力を入れ、特色として位置付けてほしい。
		②資格指導に、生徒の70%以上が満足している。	・生徒に興味関心を持たせるよう、指導内容を検討	A	A	A	工業科ではガス溶接、アーク溶接の資格取得を希望する生徒への指導の他、分かりやすく丁寧な実習を行っており、81%の生徒が満足しているとの回答であった。職員からは資格取得者増に向けて積極的に働きかけている。	
		③主体的に課題研究に取り組んだと自己評価している生徒が70%以上である。	・自主的、主体的な課題設定 ・課題研究発表会へのICT機器等の積極的導入	A	A	A	70%の生徒がテーマ設定も含め課題研究に主体的に取り組んでいるとの回答であった。自己評価ではすべての職員が主体的に課題に取り組ませているとの回答があり、課題研究発表会での成果発表の機会を継続したい。	
		④「桐工が好きだ」と感じている生徒は、80%以上である。	・生徒の主体的な行事の企画や運営を組織で支援	A	B	B	桐工が好きだと回答した生徒は69%であった。学校としての魅力を伝えるため、引き続きすべての生徒が満足するような授業や学校行事の工夫を継続していきたい。	
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	⑤生徒の学力等の実態を踏まえた学習指導に、生徒の70%以上が満足している。	・生徒の学習改善と教師の指導改善に繋がる評価方法の工夫 ・授業形態の多様化	A	A	A	83%の生徒が授業は分かりやすく満足していると回答している。自己評価では88%の職員が、基礎基本の定着や学び直しも考えた授業展開を行っているとの回答があり、引き続きICTなどを用いた授業改善を継続したい。	・生徒の実態に合った授業内容を検討し、ICTをより効果的に活用して授業改善を継続して欲しい。 ・少人数という特色を生かし、きめ細やかな授業や実習を行い、確かな学力を身に付けられるようにさらに取り組んでほしい。
		⑥実技・実習系科目の授業に生徒の70%以上が満足している。	・少人数、複数担当によるきめ細やかな授業の展開	A	A	A	89%の生徒が実技系の授業に満足しており、少人数かつパート別の実習が生徒の実態に合致していると考える。引き続き工業技術科として必要な技術、技能を精選し、安全かつ分かりやすく教える工夫を行いたい。	
	3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	⑦意欲的に授業に取り組み、学習に対する達成感・満足感を持つ生徒が、70%以上である。	・授業へのICT機器の導入 ・基礎学習の徹底に向けた教材の工夫	A	A	A	81%の生徒が授業を大切だと考えており、理解できたときは楽しいと感じている。学ぶ喜びを感じ、学力の定着を図るため、授業へのICT機器の活用など授業の工夫を継続することを考えたい。	
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑧生徒情報の共有化を毎日実施している。	・職員室における日常的な情報交換の活性化による情報共有 ・打合せ会議の活用	A	A	A	生徒状況については毎日の昼会に必要な報告を行ったり、生徒指導報告書を見直し、職員全体で生徒の状況を把握し指導することができた。すべての職員から生徒の情報交換やチームでの指導に努めているとの回答を得た。また生徒の85%が職員にあいさつしたり声かけをしていると回答している。引き続き生徒との良好な関係を維持して指導にあたってほしい。	・様々な背景のある生徒に寄り添いながら、きめ細やかに指導していただきありがたい。 ・職員間の共通理解のもと組織的な指導やスクールカウンセラーとの連携により生徒の抱える問題に対処するとともに、生徒との信頼関係をさらに高めたい。 ・家庭との連絡を密にとり、問題の早期発見、解決に努めていただきありがたい。 ・四輪、原付、自転車を利用する生徒には日頃から十分注意するよう、ホームルームや交通安全教室を活用して意識向上をさらに促していきたい。 ・毎年全国大会に出場するなど部活動でも頑張っている。心身のリフレッシュのためにも個々に応じた部活動指導を今後も行っていただきたい。
		5 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に進めていますか。	⑨面接週間や生徒情報交換会等による生徒状況の把握と情報共有 ⑩いじめの発生防止に努め、いじめの解消率が100%である。	・職員会議や臨時の生徒情報交換会を実施し、生徒の状況を把握 ・年2回以上の生徒面談を実施し、信頼関係を構築 ・生活アンケート等の活用 ・教育相談、個別面談の実施 ・職員間の情報共有と連携強化およびSCの積極的な活用	A	B	B	
	6 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	⑪欠席率が15%以下である。	・家庭との密な連携 ・教育相談体制の充実	A	A	A	1学期の欠席率は12%、2学期は15%であった。生徒の65%がよほどのことがない限り学校を休まないようにしていると回答しており、保護者の95%も規則正しい生活を過ごさせるように家庭で話し合っているとの回答を得た。	
		⑫問題行動の未然防止に努め、特別指導を行う件数は2件以下である。	・全職員による指導の充実 ・職員間の情報共有並びに連携強化	A	A	A	年間で1件の問題行動での指導があった。自己評価では100%の職員が個々の生徒の理解度や性格に応じて対応することを心掛け、声かけや観察を通して生徒の微妙な変化に気を配っていると回答している。今後も継続したい。	
		⑬交通事故（入院以上の被害・加害）が0件である。	・交通安全教室の実施 ・自転車点検の実施	A	A	A	年間で4件の軽微な自転車、原付、四輪での事故があった。自己評価、外部アンケートでも普段から交通ルールやマナーを守るように指導している、また心にかけているとの回答を得た。交通安全教室や全校集会の機会に交通安全について継続的に指導していきたい。	
		⑭体力作りや心身のリフレッシュ等で部活動に参加する生徒が50%以上である。	・良好な対人関係の構築 ・上位大会出場等を目標とした活動内容の充実と活性化	A	A	A	52%の生徒が部活動に加入しており、加入している生徒の63%が放課後の活動を楽しんでいる。引き続き部活動への参加を促し、全国大会出場から心身のリフレッシュまで、個に応じた指導を心掛けていきたい。	
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	7 計画的な指導を行っていますか。	⑮進路情報を月1回以上生徒に提供している。	・ハローワーク等との連携と生徒への積極的な情報提供	A	A	A	65%の生徒が将来の就職や職業など、進路に関する情報を職員から聞いていると回答している。今後も進路指導部を中心に日々の授業やHRの中で積極的に進路情報を提供できるように努めたい。	・希望するすべての生徒の進路が決定しているとのことで安心した。未定の生徒もいるので、1年次から進路意識を高める指導の工夫を期待したい。 ・業者と連携した進路ガイダンスを継続し、1年次から家庭と連携して進学意識、就業意欲の向上をはかってほしい。
		⑯進路に関するLHRを4年間で10時間以上実施している。	・LHR等を活用した進路ガイダンス等の進路指導計画的な実施	A	A	A	進路指導部を中心に進路ガイダンスを企画し、働くことの意義を理解するゲーム活動や県立産業技術専門学校、専門学校、企業の担当者からそれぞれ話を聞く機会を設け、進路についての理解を深めることができた。今後も生徒の要望も取り入れながら継続していきたい。	
		⑰生徒の進路希望や将来について話し合っている家庭（保護者）が70%以上である。	・PTA懇談会の活用 ・必要に応じた情報の提供や三者面談の実施	A	A	A	65%の生徒が自分の進路希望や将来について家族と話したり、相談したりしていると回答している。家庭では79%の保護者が進路や将来について話し合っていると回答している。今後も進路情報の提供や三者面談など生徒、保護者の意見を反映できるような指導を継続していきたい。	
	8 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	⑱将来の就職・職業を視野に入れアルバイト等で就業している生徒が60%以上いる。	・求人情報の提供 ・計画的なキャリア教育の実施とキャリアパスポートの活用	A	B	B	59%の生徒が将来を見据えアルバイトをしている。また、キャリアパスポートの記入を通じ、自分の将来像を考える機会を設けている。50%の職員が進路実現に向けてアドバイスをしており、75%の保護者は生徒の取り組みを理解している。	
⑲進学・就職を希望する生徒の達成率が70%以上である。		・資格取得の奨励 ・進路指導部としての組織的な対応と支援	A	A	A	進路指導部、担任が連携し指導にあたることで、4年生の進学・就職を希望している生徒の100%が目標を達成することができた。残りの生徒は卒業後に進路について考えたいということであるが、本人の希望を聞きながら家庭と連携しながら対応したい。		
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	9 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	⑳定時制のWebページを2ヶ月に1回以上更新している。	・定期的なWebページ更新 ・行事等の紹介と報告	A	A	A	広報係を中心に、学校行事終了時や部活動などの活動報告を随時Webページに掲載し更新している。（月2回程度）保護者の75%はWebページを見ているが、生徒は35%しか見ていないことがわかった。今後とも積極的に情報発信を心掛けたい。	・定期的に通信を発行し、学校ホームページにも掲載して欲しい。 ・保護者の満足度は高いが、学校への関わりが少ないので、授業参観だけでなく課題研究発表会等に保護者の参加を促す等、検討していただきたい。
		㉑学校からの配布物で適切な情報が提供され、学校の様子がよく分かると保護者の70%以上が回答している。	・行事等の案内配布 ・毎月の行事予定表の配布 ・年5回以上の学校通信の発行とWebページへの掲載	A	A	A	外部アンケートでは81%の生徒、75%の保護者が配布物で学校の様子を理解していると回答している。今年度これまでに4回の学校通信を配布し、Webページにも掲載した。今後も保護者、地域に積極的に学校の様子を伝えることを心掛けたい。	
		㉒PTA懇談会、授業参観等に参加した保護者の満足度が70%以上である。	・通知及び出席確認の工夫 ・学校生活に慣れた時期に授業公開を実施	A	D	C	本年度、保護者のPTA懇談会、授業参観への参加は6%であった。（昨年度は25%）職員の88%が保護者の要望に応えられるように努力していると回答しているが、保護者への案内方法や実施内容をさらに工夫し、保護者が学校に目を向ける機会を増やしていきたい。	
		㉓桐工定時制の取組みに保護者の70%が満足している。	・生徒一人一人へのきめ細やかな指導の実施 ・全職員での組織的な対応	A	A	A	外部アンケートでは90%の保護者が桐工定時制に通わせていることに満足していると回答している。また、自己評価では88%の職員が保護者の要望に応えられるように努めていると回答している。今後も生徒に寄り添ったきめ細やかな指導を継続したい。	
VI 教育デジタル化に努めていますか。	10 ICTを活用した指導を行っていますか。	㉔学習端末を授業等に持参または、活用している生徒が70%以上である。	・学習端末を使い、調べ学習や課題提出等の手段として活用させる。	B	D	C	自己評価では63%の職員が、外部アンケートでは23%の生徒がChromebookを持参し活用していると回答している。引き続きICT機器を活用した授業を実践し、活用することで生徒に興味、関心を高めるようにしていきたい。	・授業だけでなく、様々な場面でICT活用の充実に努めてほしい。 ・生成AIの活用で業務の効率化につながるような工夫も検討していただきたい。
		11 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	・学習端末を用いて周知連絡や課題提出等を実践し、業務の省力化と用紙を節約する。	A	C	B	50%の生徒が日常的にChromebookを授業などでツール（調べ学習や課題提出など）として活用していると回答した。75%の職員がClassroomを活用していると答えているが、生成AI活用など、さらなる工夫で授業内容や業務の効率化を進めていきたい。	
※各学校が必要に応じて評価対象を加える。								